

報 告 書

開催日時	令和 7 年 8 月 8 日		18 時 00 分 ～ 18 時 55 分	
自治協議会名	壬生野地域まちづくり協議会		開催場所	壬生野地区市民センター
出席議員	山口 康子、北森 徹、市川 岳人			
	班 長	山口 康子	記録・報告者	山口 康子
参加人数	14 名			
【主な意見・提言等】				
< 中学校統合 > ・ 要望書が両校の校長と PTA に提出された、との説明を 2 月に受けたが地元地域がどのように関わろうかと考えたときに、最初から地域が外されている。 ・ 統合のことを地域住民がはっきりした説明を受ける前に、新聞報道がされている。まちづくり協議会として住民に説明ができない。 ・ 3 月に統合の話を聞いた住民さんから「こんな大事な話をなぜもっと早くしないのか」との意見が上がった。議会として統合にどのように考えているか。 → 大事なことは子供の教育の環境を整えられるか。また学校は地域の核であり、防災避難所という側面から統廃合による避難所等も考えていかなければならない。 → 地域の皆さんの理解を得られるよう、皆さんの意見を共有させていただき行政に伝えていきたい。 ・ 通学には民生委員も協力して下さっており、地域の関りが大きい。検討会は良い意味で意見を吸い上げていただくのならば、まち協を大事にしてほしい。 ・ 教育委員会は住民に対して丁寧な説明をしていただきたい。 → 統合ありきで進める当局の説明に地域の方が疑問を持つのは理解できます。本来統合は地域の意見を聞き地域の方と折り合いをつけることが大事だと思います。 → 5 月に学校未来構想の中で 2 校の統合に関して説明を受けました。その時点では協議を進める段階との説明でしたが、今、住民不在になっていることを認識させていただいたので進め方について議会として意見を言わせていただきます。 < 消防署再編 > 現在の消防車、救急車、人員をそのまま新しい場所に移すとの説明を聞いた。問題は、老朽化した車両の補充はあるのか。今後の運営はどうなるのか。 → 議会として、車両の経年数、移動距離などを考慮して更新計画を立てるよう言っているので更新は行っています。				

→統合することにより車両も人も倍の体制になるので、従来よりも効率的な体制となります。

・毎年、退職者がいるが定年退職で再雇用されても消火活動は出来ないと聞いている。実際消火活動に出動できる人員は確保できているのか調べてほしい。

→人員確保は大変重要です。確認してお答えいたします。

・山火事の多い地域との統合になるが、壬生野地域としては消防力が弱まるのでは？

→火災に関しては市全体でカバーしますし、消防団とも連携して活動します。

・猛暑で救急車の要請が増えているように感じる。

・住民が一番心配しているのは救急の受け入れ先。滋賀県のように遠方の場合もある。老人会としてはイザという時に搬送してもらえるのか不安である。

→議会で病院・医療のあり方特別委員会を立ち上げ様々検討してきた結果、本日、市長に提言書を提出しました。

・消防署の再編は老朽化と聞いているが、人口減少を考えれば伊賀市全体、または名張市も含めて再編すべきでは。

→伊賀市全体を含めて再編計画があります。現在の偏りやロス等を無くし最適化するための再編となりますがいただいたご意見は伝えさせていただきます。

<指定管理について>

・住民にとって指定管理が本当に良いのか、何のための指定管理なのかを勉強しているがわからない。市としては早くしてほしいのだろう。

→自治協さんの実情や様々な考え方があります。強制ではありません。

→市として自治協、まち協さんにやってもらうことが多いので、少なくしないといけません。行政に伝えさせていただきます。

伊賀市議会議長 様

令和 7 年 8 月 26 日

上記のとおり、地域意見交換会の概要について報告いたします。

令和7年度 地域意見交換会 4 班

班長 山口 康子